

学校の教育目標「自らとりくみ 輝く佐見の子」



# 校報 さみ キラリ

佐見小学校ホームページ <http://samisyo.town.shirakawa.gifu.jp>

白川町立佐見小学校

校長 佐伯 好洋

平成29年度 校報

6月号 (No.3)

## 新しい技に挑戦！ 挑む佐見の子

教頭 垣内 新子

「やったーできたー。」「ぼくこれやってみる。」こんな声が運動場に響き渡る火曜日の佐見小タイム。全校一輪車練習の日です。この頃は火曜日に限らず、朝や放課後もこんな声が響くようになってきました。一年生もどんどんチャレンジし、ずいぶん上達しています。一学期中には何人か乗れるようになる気がします。また、二年生以上の子たちは、検定カードにあるホッピングやスラローム、メリーゴーランドなどの難しい技に挑戦しています。中級カードをクリアした子は背の高い一輪車(フラミンゴ)に乗ることができます。それぞれの目標に向かって挑んでいます。やらされているのではなく、自分ができるようになりたいという気持ちで取り組んでいるので、子どもたちの上達には目を見はるものがあります。



昨年度一年生のA君は「運動会までに一輪車に乗れるようになりたい。」という強い気持ちをもっていました。それを応援して下さったA君のお母さん、その気持ちを感じた担任、みんながA君の思いを応援しました。学校でも一生懸命練習していました。夏休みもお母さんと学校に来て練習していました。そして運動会間際、Aくんは一輪車に乗れるようになりました。A君だけでなくお母さん、担任、その努力を知る多くの人と一緒に大喜びしました。

今年度は、一輪車の元世界チャンピオンの方に2回指導に来ていただきます。子どもたちもより高い技術や技能にふれ、より「挑もう」という気持ちになることと思います。運動会ではそんな子どもたちのがんばりの成果が観ていただけるとと思います。

佐見小学校は、今年度も「挑む・鍛える」を合い言葉に職員も児童も取り組んでいます。どの子もよくなりたいたいという気持ちは必ずもっています。一輪車に限らず、お子さんが今挑もうとしていることを気にかけてください。そしてA君のお母さんのように子どもの挑もうとしていることを応援して下さい。おうちの方の応援や励まし、見届けが子どもたちの大きなエネルギーなり、鍛えることにつながるとと思います。そしてそれを共に喜び合いましょう。